

令和元年度町村長会議の結果概要

【日 時】 令和元年5月20日（月）
14時00分～16時00分

【場 所】 ロイヤルパインズホテル浦和
（4階「ロイヤルプリンセス」）

【出席者】 60名
（知事・県幹部職員、町村長、町村会職員）

【概 要】

- | | | |
|-------------------------------|---------|------|
| 1 開会 | 【14:00】 | |
| 2 新任町長紹介 | | |
| 3 町村会会長挨拶 | | |
| 4 議事（進行：町村会会長） | 【14:05】 | |
| （1）上田知事挨拶 | | } 別紙 |
| 県の主な取組について | | |
| （2）意見交換（フリートーキング） | | |
| ア 遊休農地の再生について | | |
| イ 人口減少対策について | | |
| ウ 森林・雑木林の適正管理について | | |
| エ 大規模災害時における町村支援について | | |
| オ その他 | | |
| （3）県からの報告 | | |
| ・ラグビーワールドカップ2019大会について | | |
| ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について | | |
| ・移住促進施策の取組状況及び地域間交流の推進について | | |
| 5 閉会 | 【16:00】 | |

意見交換での主な発言

1 遊休農地の再生について

● 井上毛呂山町長

- ・ 農地の荒廃が広がっている。原野化した農地を再生するのは困難である。
- ・ 新規就農者や篤農家が規模を拡大する際、県が費用を支援するシステムがあれば再生しやすい。中間機構等があるが十分でないと感じる。
- ・ 担い手が少なく、問題解決に至らない状況である。実態を見ていただきたい。
- ・ 耕地整理をしていないところが一番ひどい。耕地整理が進めば規模拡大もできるので、ぜひ県がフォローしていただければ荒廃した農地も再生できると考える。

2 人口減少対策について

● 新井越生町長

- ・ 越生町では人口が減少している。
- ・ 高齢者人口が増加し社会保障費が増加する一方、生産年齢人口が減少し税収が減少するという負のスパイラルが起きている。今後も持続可能なまちづくりを推進していくための人口減少対策をお伺いしたい。

● 古谷杉戸町長

- ・ 杉戸町では産業団地の整備や働きながら子育てできる環境整備、杉戸宿を活用した交流人口の増加などに取り組んできた。
- ・ 0歳から4歳までが増えてきているが、全体としては減少している。
- ・ 今後何をしたらよいか御指導いただきたい。

● 渡邊ときがわ町長

- ・ ときがわ町は0歳から20歳までの男女比はほとんど変わらないが、20歳を過ぎて35歳までは女性が急減してしまう。中山間地域の他町村と比べても特に女性が減少している。
- ・ 県も一緒に原因を調査していただきたい。

● 吉田滑川町長

- ・ 滑川町は人口が増えており、森林公園駅北を区画整理したいが県で認めてもらえない。

● 鈴木松伏町長

- ・ 出生率を上げるためには0～2歳児の保育料無料化が必要と考えるが、国はどのように考えているのか。知事会ではどのように要求していくのか。

● 大島伊奈町長

- ・ 伊奈町では人口が増えているが、外国人も増えている。日本語がよく理解できない住民もいて、ゴミ出しの問題などで困る。今後、犯罪などいろいろな問題が起きないように対策が必要と思っている。
- ・ よい対策をしている市があれば教えていただきたい。

3 森林・雑木林の適正管理について

● **渡邊ときがわ町長**

- ・ ときがわ町は面積の7割が山林だが、荒廃している。
- ・ 県の里山整備事業が終了するという話も聞くが、トレッキングや登山客も多いので、里山や低い山の管理をする事業をお願いしたい。
- ・ 県西部が森林の供給源、東部が消費地である。県で木材の流通システムを確立していただきたい。
- ・ 森林環境譲与税の試算では都市部に多くの金額が配分され、山間部への配分額が少ないため、山の手入れが行き届かないと思われる。林業は50年から100年サイクルのビジネスなので、その点も勘案して御指導いただきたい。
- ・ 山林の荒廃とともに鳥獣被害に直面しているが、ジビエ産業がうまくいくように県に指導・補助をお願いしたい。また、シカ肉はまだ放射能の問題があるが、解除していただきたい。

● **井上毛呂山町長**

- ・ 森林環境譲与税について、人口割があるため都市部に多く交付されて、森林が多いところは人口が少ないため額が少ない。森林を有する面積を重要視していただかないと非常に矛盾がある。知事会では改善すべきという意見はないのか。

● **大澤長瀬町長**

- ・ 里山平地林事業が廃止されると聞いたが、継続していただきたい。

● **花輪寄居町長**

- ・ 町村では専門職を雇用することが難しい。県が派遣するアドバイザーとは地域林政アドバイザーのことか。

4 **大規模災害時における町村支援について**

● **岩澤嵐山町長**

- ・ 大規模災害の支援について、埼玉県・市町村被災者安心支援制度、災害救助法などがあるが、不安である。
- ・ 都道府県独自の被災者生活再建支援制度について、全額県負担という県もある。埼玉県は県負担3分の2だが、対策を拡充いただきたい。
- ・ 安心支援制度の拡充を検討いただいているが、更に肉付けするような形にできるとありがたい。

5 **その他**

● **小峰鳩山町長**

- ・ 町村会では基幹システムだけでなく、学校教育現場の業務改善として、小中学校の統合型校務支援システムの共同構築を検討している。
- ・ 文部科学大臣に面会して本事業への御理解・御協力をお願いしているところだが、県にも財政的支援を含めた取組の推進に御理解・御協力をいただきたい。